

事 務 連 絡
平成 29 年 2 月 24 日

各都道府県下水道担当課長 殿
各政令指定都市下水道担当課長 殿
（上記、各地方整備局等経由）
各市町村下水道担当課長 殿
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業課長 殿
都市再生機構下水道担当チームリーダー 殿

国土交通省水管理・国土保全局下水道部
下水道事業課事業マネジメント推進室課長補佐

下水道工事における安全対策の徹底について

平成 29 年 2 月 22 日（水）、山口県宇部市が発注した水処理機械設備設置工事において、作業員が反応タンク上で新設した機器に文字書きを行っていたところ、反応タンクの点検口から転落し死亡する事故が発生しました。

本事案の詳細については現在調査中ですが、本年度に入って地方公共団体発注の下水道工事における死亡事故は 2 件目であり、どちらも転落が原因の死亡事故です。

下水道工事においては、墜落・転落事故が主な事故原因の一つであり、特に安全対策の徹底が求められます。改めて全国主管課長会議資料、下水道セーフティネット等を確認していただき、事故の未然防止、安全管理の周知徹底に努めていただくようお願いします。

各都道府県におかれましては、貴管内の市町村（政令指定都市を除く。）にも周知していただきますようお願いします。

【反応タンクからの転落事故】

- 発生日時 : 平成29年2月22日 (水) 12時00分頃
- 発生場所 : 山口県宇部市大字沖宇部地内
- 被災者 : 機械名板工 (1次下請、女性)
- 発生状況 : 水処理施設機械設備工事 (新設) において、反応タンク上部に設置されている機器に名称を記入していたところ、合成木材蓋が設置してあった開口部から約7.2m下の反応タンク底部まで転落した。
- 被災内容 : 病院へ搬送されたが約9時間後に多発性外傷により死亡。
- 報道 : あり (地元新聞)
- 事故原因 : 調査中

【現場状況】



【断面図】

